

## 創立 73 年・法人化 50 周年を祝して

美幌町社会福祉協議会が、創立73年・法人化50周年の記念すべき年を迎えられますこと、心からお祝いを申し上げます。

貴協議会におかれましては、法人化後、配食・移送等のサービス事業をはじめ、心配ごと・無料法律相談サービス、たすけあいチームによる見守り活動、ボランティアセンター事業など、本町の福祉活動の中心的な役割を担って頂いており、地域に密着した数々の活動が、美幌町にとりまして、大変大きな存在となっております。

歴代会長をはじめ、役員・職員及び関係団体の皆様が、積み重ねてこられた永年のご努力に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

近年は、少子化、核家族化や超高齢社会、様々な課題がありますが、全ての町民が安心して日々の生活を送られるように、社会的援護を必要とする人達のニーズに応え、ボランティア活動を推進しております貴協議会のきめ細やかな活動により地域社会を支えて頂いております。

住民が、「美幌に住んで良かった」と実感して頂ける地域社会の実現のため、私共も行政運営に精一杯努力して参りますので、引き続き、住みよい地域社会の実現のため、尚一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立73年・法人化50周年という大きな節目を契機として、美幌町社会福祉協議会の更なる充実発展を心よりご祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。



美幌町長

平野 浩 司

このたび、美幌町社会福祉協議会が創立73周年を迎えるとともに、法人化50周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

美幌町社会福祉協議会は、昭和26年4月に発足されて以来、地域と福祉行政を結ぶパイプ役として活動されてきました。

この間、今日の社会福祉協議会を作り育ててこられた歴代の会長をはじめ、多くの方々のご労苦に対し、深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

少子高齢化が他に類を見ない速さで進む中、行政サービスだけでは解決できない課題も多く、また、社会福祉サービスのニーズも増大しております。

このような中、貴協議会におかれましては、協働・連携・共生の社会福祉の実現に向け、各種事業の推進と充実努めていただいているところであります。

今後におかれましても、地域福祉の中心的な担い手として、さらに一層飛躍され、その真価を遺憾なく発揮されますよう心からご期待申し上げます。

結びになりますが、美幌町社会福祉協議会の今後益々のご発展と、会長はじめ関係各位のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、記念誌発刊に際してのお祝いのことばといたします。



美幌町議会議長

戸澤 義典

## 創立 73 年・法人化 50 周年を祝して



社会福祉法人  
北海道社会福祉協議会  
会長  
長 瀬 清

この度、貴会が創立73年、そして法人化50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、永きにわたり地域福祉の向上に中核的な役割を果たしてこられたことに深い敬意と心からの感謝を申し上げます。

昨今、これまでの福祉課題に加え、ひきこもりや生活困窮など、地域が取り組むべき新たな課題が頻出する中、それらに対応すべく国においては「地域共生社会の実現」を目指し、住民一人ひとりが相互に助け合いながら、生きがいを持って暮らせるような地域社会づくりを推進しているところです。

この理念は、まさに貴会のスローガン「みんなで参加 みんなでつくる ささえあいのまち 美幌」で目指しているものと一致するところであり、今後の地域社会を築く上では貴会の活動はますます重要になっていくものと考えます。

貴会が今後も時代の流れを的確に読み取り、住民のニーズに応える社会福祉協議会であり続けることを願うとともに、私共といたしましても、地域福祉の充実に向けてこれまで以上に貴会との連携を深めてまいりたいと存じます。

結びに、今回の節目の年を契機に、皆様の益々の御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



社会福祉法人  
北海道共同募金委員会  
会長  
瀬 尾 英 生

社会福祉法人美幌町社会福祉協議会創立73年・法人化50周年という記念すべき節目に、その永年の足跡をたどり未来への礎とすべく「記念誌」を発行されますことは、誠に意義深く、心よりお祝い申し上げます。

戦後の混乱の後に創立された社会福祉協議会は、以来、民間福祉活動の中核として地域福祉の推進に取り組み、時代の移り変わりとともに地域の福祉課題が多様化していくなか、美幌町社会福祉協議会では、「みんなで参加 みんなでつくる ささえあいのまち 美幌」の実現をめざし、地域住民、関係機関・団体との連携のもと、さまざまな福祉活動の推進・調整役としてその使命を果たしてこられました。

一方、共同募金は、国民的なたすけあい運動として、そのような民間福祉活動のための財源を醸成する役割を担い、両者はともに地域福祉の推進を目的とする組織として、車の両輪にもたとえられてきた関係ですが、今後もその連携を維持し高めていくことが、美幌のまちに多くの笑顔をもたらすための力強い原動力となっていくことを願っております。

この度の記念誌発行をまた一つの契機として、美幌町社会福祉協議会がさらなるご発展を遂げられるよう、また、関係者の皆様のますますのご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。